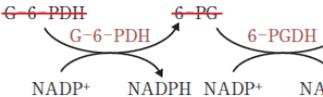
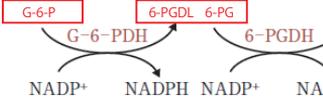


獣毒医学学〈第二版〉 お詫びと訂正 (2024/12/2 追加版)

本書におきまして、以下の誤りがございましたので、ここに訂正するとともにお詫び申し上げます。

訂正箇所	誤	正
4頁8行目	イペリット(有機ヒ素剤)	イペリット(有機ヒ素剤) ※ヒ素を含有しない
13頁3)2～3行目	パラコートは還元されることで、酸素をスーパーオキシドアニオン(O ₂ ⁻)を生じさせる	パラコートは還元されることでパラコートラジカルとなり、このラジカルが酸素をスーパーオキシドアニオン(O ₂ ⁻)に還元する
20頁3)(1)2～3行目	エポキシ脱水素酵素	エポキシ加水分解酵素
21頁図2-3 上部		
21頁図2-3 説明文		追加 6-PGDL: 6-ホスホグルコン-δ-ラクトン
24頁6行目	エポキシ脱水素酵素, キノンオキシドレダクターゼや第Ⅱ相酵素である GST や UGT1A1 などは	第Ⅰ相酵素であるエポキシ脱水素酵素や、第Ⅱ相酵素であるキノンオキシドレダクターゼ, GST, UGT1A1 などは
26頁図2-7 右側	 アシルグルクロン酸抱合体 HO-C=O	 アシルグルクロン酸抱合体 HO-C=O 酸素原子 O の抜け
32頁「キーワード」6行目 37頁(3)タイトル, 1行目 234頁左段「け」1行目	OECD の和名 経済開発協力機構	OECD の和名 経済協力開発機構
34頁(2)5, 6, 12行目 35頁1, 14行目	NOEL	LOAEL
40頁6～7行目	農業・動物用部会	農業・動物用医薬品部会
41頁「規制法」3行目	覚せい剤取締法	覚醒剤取締法
41頁「規制対象」9行目	ウシ, メンヨウ, ヤギ, シカ, ブタ～	ウシ, ウマ , メンヨウ, ヤギ, シカ, ブタ～
66頁図5-8 図内左下	(S9 存在または非存在下)	(S9 mix 存在または非存在下)
72頁2.の(2)タイトル	(2)代謝活性の有無に基づく分類	(2)代謝活性化の有無に基づく分類
75頁(10)1～2行目	12-O-テトラデカノイルホルボール 13-アセテート 12-O-tetradecanoylphorbol 13-acetate	12-O-テトラデカノイルホルボール 13-アセテート 12-O-tetradecanoylphorbol 13-acetate 大文字 O(オー)イタリック体
85頁(4)3行目	催奇形 の発生頻度	奇形の発生頻度
85頁(4)4行目	母胎毒性	母体毒性
88頁2行目	精神発育遅滞	精神発達遅滞
89頁1)1行目	交配前から着床(再産期)	交配前から着床
89頁1)3～4行目	児動物の形態学的異常のほか、行動, 学習能力に対する影響も検討する。	文章ごと削除 ※F1 個体は出生しないため、行動や学習能力を調べることはできない。
90頁2)1行目	着床から離乳(再産期から授乳期)	着床から離乳
112頁1行目	多発性心室頻脈	多形性心室頻拍
114頁3)4行目	累積投与依存性	累積投与量依存性
114頁4)3行目	fexofenadine)が作用を発現する	fexofenadine)が薬効を発現する
117頁演習問題3のb	肝臓のシトクローム P450 で解毒される	肝臓のシトクローム P450 で薬効を発現する
119頁1行目	細胞内には異物除去を担う肺胞～	肺胞内には異物除去を担う肺胞～
125頁4.の1)3行目	固体への投与量	個体への投与量
128頁「到達目標」	神経毒性の概要および主な神経毒性物質を説明できる	神経毒性の概要, 主な神経毒性物質および試験方法を説明できる
147頁3)(1)2行目	シアンイオン	シアン化物イオン
147頁3)(1)4行目	リナ豆	リマ豆
155頁1)(3)4行目	抗体産生能や胸腺の萎縮を引き起こす	抗体産生能の抑制や胸腺の萎縮を引き起こす
156頁2)(3)2～3行目	2,4-ジニトロクロロベンゼン	2,4-ジニトロクロロベンゼン
156頁2)(3)4行目	p-フェニルジアミン	p-フェニレンジアミン
189頁5)3～4行目	水質汚濁残留性農薬(PCP 除草剤, ロテノン剤, シマジン剤, エンドリン剤など)	水質汚濁性農薬(シマジン剤)
202頁2)8行目	ヘモグロビンとの結合し	ヘモグロビンと結合し
226頁第11章2.	正解 a	正解 e